

令和元年度 徳島市川内中学校 総括評価表

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指数と活動計画	評価		
学力向上	基礎学力の定着を図る。 課題解決のために学び合う授業を展開する。	評価指数	評価指数の達成度	総合評価	〈自己評価結果について〉 基礎学力は、小学校からの積み重ね、小中連携が大切である。各教科とも授業改善に努められている。 オープンスクールの時、落ち着いた雰囲気の中で生き生き活動できていた。 〈今後の改善策について〉 学校生活での取組はできている。家庭への啓発が重要である。改善策を着実に実施することを願う。 学習の遅れがちな生徒や意欲の高い生徒への指導に課題を感じている教員が多く、難しいことだが、大切なことだと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ チャイム前着席を徹底させるため授業者が早く教室に行っている。 ○ 授業の準備物や提出物のチェックを必ず行っている。 ○ 授業中の私語、授業中に寝ることなどへの指導を徹底している。 	A 60.0% B 40.0% C 0.0%	(評定) B	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日のめあて」表示を必ず使用し、本時の目標を確認している。 ○ 授業の終わりに本時の振り返りの時間をとっている。 ○ ペア・グループ活動等を適切な場面で取り入れている。 ○ ICT活用、板書、ノート指導、発問の仕方等に工夫と改善を加えている。 	A 30.0% B 66.7% C 3.3%	(所見) 基礎学力の定着に向けた取組は、ある程度評価できる。	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研修が計画的に実施され、教職員が積極的に参加している。 ○ 「オープンプラスウィーク」を活用し、互いに研鑽し合っている。 ○ メンター制を活用し、互いの授業力向上に努めている。 	A 6.6% B 86.7% C 6.6%	学び合う授業を展開するための取組は、各教科等において実践がなされたが、このこと	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		① 授業規律の確立に向けた取組を組織的に行う。	組織的な取組を行えた。		
		② わかる授業のために全校体制での取組を行う。	全校体制での取組に努力した。		
		③ 教職員の意識改革と授業力向上のための校内研修に取り組む。	校内研修で意識改革を目指した。		
人権教育の推進	自他の人権を尊重しようとする人権感覚の育成を図る。 いじめや差別を許さない行動力を身につけさせる。	評価指数	評価指数の達成度	総合評価	〈自己評価結果について〉 いじめへの啓発活動が進まず、減少しないのが現実である。 人権感覚の育成のみならず、具体的行動につなげる生徒の育成に期待する。 生徒同士の仲が良いのが感じられ、人権教育の成果である。 〈今後の改善策について〉 SNS等での問題は難しく、家庭への啓発が大切である。 一人一人の意識改革が大切である。 SNS等で気づかず人権侵害を起こすことがあるので生徒の意識を高めることが大切である。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育の全体計画、年間指導計画が確実に実施されている。 ○ 人権に配慮がなされた学校行事が行われている。 ○ 人権に配慮がなされた環境整備が行われている。 ○ 特別支援教育の視点をもって学習指導や生徒指導を行っている。 	A 26.7% B 73.3% C 0.0%	(評定) B	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間35時間を確実に確保している。 ○ 教科書を中心に適切な教材を使用し、年間計画を確実に実施している。 ○ 「考え議論する道徳」をめざし、授業の工夫を行っている。 	A 16.7% B 73.3% C 10.0%	(所見) 日常の学校生活の中で人権の共存が図られる雰囲気がある。	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの違いを認め合い尊重し合える集団作りを行っている。 ○ 共に助け合える仲間作りを行っている。 ○ 悪口や陰口などへの指導を適切に行っている。 	A 46.7% B 53.3% C 0.0%	自己有用感や自尊感情が持てる指導が必要である。	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		① 人権教育を学校運営の中核として捉え、教育活動を推進する。	全教員共通理解の元推進できた。		
		② 道徳の教科化に適切に対応する。	量的確保と質的転換に努めた。		
		③ いじめ防止に学校全体で取り組む。	道徳の時間を中心に全ての教育活動で推進した。		
健康と安全に関する教育の推進	自他の命と健康を守る習慣を身につけさせる。	評価指数	評価指数の達成度	総合評価	〈自己評価結果について〉 JNK活動の成果がみえる。生徒主体の活動が素晴らしい。 今後とも継続的な指導を期待する。 地域でも生徒の交通マナーがよい。残食が少ないのもよい。 〈今後の改善策について〉 命の大切さについての家庭への啓発が大切である。 改善策を着実に実施することを願う。 学校の取組を地域に広報する必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ JNK活動についての広報啓発に努めている。 ○ 時宜を捉え個に応じた交通安全指導に努めている。 ○ 保護者、地域、関係機関との連携を深め、交通安全に取り組んでいる。 	A 20.0% B 76.7% C 3.3%	(評定) B	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間指導計画に基づき、確実に食育の授業を実施している。 ○ 給食を活用し、食文化、地域食材、食のマナー等の指導を行っている。 ○ 残食ゼロリンピックに積極的に参加している。 	A 53.3% B 46.7% C 0.0%	(所見) 交通ルールやマナーの遵守のさらなる徹底が必要である。	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの違いを認め合い尊重し合える集団作りを行っている。 ○ 共に助け合える仲間作りを行っている。 ○ 悪口や陰口などへの指導を適切に行っている。 	A 46.7% B 53.3% C 0.0%	組織的な食育の推進が行われた。	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		① JNK活動を軸に交通安全教育の推進を図る。	生徒会を中心に推進を進めた。		
		② 食育の推進を図る。	給食室と連携し推進を図ることができた。		

総合評価の基準 **A** 十分達成できた。 **B** 概ね達成できた。 **C** 達成できなかった。